とき

13:30-

13:30~

13:30

14:00-

13:30~

14:00~

13:30~

13:30~

13:30-

13:30-

13:30~

13:30-

13:30~

13

 $10/6(\pm)$

 $10/20(\pm)$

11/11(日)

11/17(土)

1/13(日)

1/19(土)

1/20(日)

 $1/26(\pm)$

1/27(日)

 $2/2(\pm)$

2/3(日)

 $2/16(\pm)$

2/24(日)

来年1/12(土)

ところ(コミセン名)

電話番号

緑野

☎(276)1816

下草柳

☎(264)5110

深見中

2(264) 7611

深見南

2 (262) 2671

下福田

2 (268) 1577

深見北

☎ (262) 6030

公所 **2** (273) 9481

下和田

267) 8500

桜森 **2** (264) 7629

中央林間

2 (276) 8121

草柳

☎ (264) 1355

福田

2 (269) 9390

南林間

2 (276) 3643

鶴間

2 (276) 3736

※新たな対象者には、

月中旬以降

に申請案内を郵送する予定です。

の交付を受けている

ながら要望しました。

このほか、

艦載機の部品落下事故や離着陸訓練につい

て重点的に要望

とらえている]などの返答がありましり地元住民の負担もかなり変わるとり進むものと考えている。移駐によ

総務省、米国大吏官でうり日、民主党幹事長室、防衛省、外務省、日、民主党幹事長室、防衛省、外務省、8月20 機の安全対策の徹底、そして今後決 項として事故原因の早期公表と航空 ないことを、 して厚木基地で離着陸訓練を実施し で発生した空母艦載機による部品落 改善に関する要望書を提出しました。 基地の早期返還と基地対策の抜本的 て組織される大和市基地対策協議会 れた離着陸訓練を受け、 下事故や、 今回の要請活動では、 議会、 5月に厚木基地で実施さ 映像や資料(左図参照) 行政の代表者によっ 2月に市内 重点要望事

を使って被害の状況を具体的に示 離着陸訓練の実施時間 (9:09~21:59) (要請活動の際に騒音被害の状況を訴えるために

> 艦載機の飛行について十分に配慮す 空母艦載機による激しい騒音被害が 周辺対策の拡充などを要望していま 木基地の空母艦載機の移駐を201ながら要望しました。このほか、厚 請対応本部副本部長に要望書を手渡 るよう求めました。 ることや、 あったことから、 4 (平成26) 年までに確実に完了させ 当日は、 8月15日の終戦記念日に 那谷屋正義民主党陳情要 住宅防音工事などの基地 終戦記念日の空母

省の山内 した後、 防衛省を訪問しました。

きたい。 う米側に 黄島で実 正和地方 艦載機の る限り硫 てはでき 練につい からは、 また空母 離着陸訓 協力局長

山内地方協力局長に要望書を手渡す大和市基地対策協議会委員ら(防衛省)

厚木基地で離着陸訓練が実施された5月23日の

滑走路北約1型地点における騒音レベルの変動

同 北米局長 省では、 月の事故 から、2 伊原純一 れた外務

米側によ に関する

要請していきたい」との回答がありま した。 などとも調整して飛行を控えるよう また 「終戦記念日の空母艦載機の飛行 については大変残念に思う。 防衛省

み

た結果として、

気流によりパネルが機体から外に果として、飛行中に留め具が緩

れてしまった」などとのことでした。

の負担に見合うよう、制度の抜本的格を持つ基地交付金について、市民官に対し、固定資産税の代替的な性 な見直しを求めました。 総務省では稲見哲男総務大臣政務

館では、デイビッド・ 最後に大木会長が訪れた米国大使 安全保障政策課長から「空母艦載 年までに予定通 A. シュレイフ

使用した資料より)

ました。 答があり 駐のスケジュールなどについては情いては今後も着実に進めていく。移 報提供に努めるなどといった旨の回 次に訪

> 解決に向けて取り組んでいきます。 も基地にかかわるさまざまな問題

大和市基地対策協議会では、

今後

 \mathcal{O}

て防衛省から市に説明2月の部品落下事故に関し



空母艦載機の飛行状況の映像を示しながら伊原 北米局長に説明する大木会長ら(外務省)

EA-6Bプラウラー

月8日に市内で発生した空母艦載機

8月21日、

防衛省は市に対し、

る調査結果の概要が説明されま

事故について、

米側の調査結果など

の概要を説明しました。

同省の説明によると「所定の手順に

れず、

艦載機の安全確保に最大限努める めていくとともに、 全対策などについて十分な説明を求 かねないものです。 航空機の事故は不注意では済まさ 国や米側に働きかけていきます。 極めて重大な被害につながり 市では今後も安 厚木基地の空母

☎(260)5310 國(260)5 圖市役所基地対策課基地対策担当

コミセンでクラシックコンサート やまとコミュニテ

心

身障害者医

療

費助

成

の対象者を変更

ミニコンサ-大和市音楽家協会のメンバ

楽館」を左表のとおり開催します。 申し込み▼不要。 ト「やまとコミュニティ音 ーによる

☎(260)5222 図(263)2 圖市役所文化振興課文化振興担当

※各会場とも駐車場はありません。

的・精神の3障がいの制度の一元化年1月(一部来年10月)から身体・知対し、医療費を助成しています。来市では、一定の障がいを持つ人に

新たに助成対象に |級の交付を受けている人が||月~||精神障害者保健福祉|

整合性を図り、

対象者を変更します

安定的な運営のため、

県の制度との

および心身障害者医療費助成制度の

来年1月以降の対象者▼医療保険に 付を受けている人の通院医療費が助精神障害者保健福祉手帳1級の交 成対象となります

出演者(敬称略)

河上素子(ピアノ)、紀伊国屋美智子(ソプラノ)、

入佐弥生(ピアノ)、あらい純世(ボーカル)、

なら京子(ピアノ)、内木由美子(ソプラノ)、

中畑仁美(ピアノ)、渡邉芙美子(ソプラノ)、

奈良啓子(ピアノ)、西川玲子(バイオリン)

高島菜穂子(ピアノ)、白川真理(フルート)、

河村忍(ピアノ)、小方まゆみ(メゾソプラノ)、

小田倉紫乃(ピアノ)、紀伊国屋美智子(ソプラノ)

佐藤紫布(ピアノ)、齋藤純枝(ソプラノ)、

奈良康佑(ピアノ)、豊川泰子(ソプラノ)、

渡邉益子(ソプラノ)、

福田美樹子(ソプラノ)、

吉川みちる(ソプラノ)、

長嶋陽子(ピアノ)、

今村理知(フルート)

三原麻梨子(ピアノ)、

遠藤恵子(ソプラノ)

入江恵一(サクソホン)

神村淳子(フルート)

霜島恵(バイオリン)

長谷川愛子(筆)

金子敦則(トランペット)

北嶋恭子(サクソホン)

門田あゆ子(ピアノ)、 小島海治(リコーダー)

田辺陽子(サクソホン)

吉野裕子(フルート)

西川玲子(バイオリン)

5 ∞(262)0999。 障がい福祉担当☎(260)56 間保健福祉センター障がい福祉

6 課

鏑木英津子(クラリネット)

サファロバ・グルナラ(ピアノ).

小島海治(テノール)、小川彰(ギター)

当者)、 Q 35 交付を受けていてー 者手帳の交付を受けている、 該当する人① 加入している① 以下(療育手帳A1) 精神障害者保健福祉手帳1 |精神障害者保健福祉手帳1級を受けていてIQ50以下、④、③3級の身体障害者手帳の以下(療育手帳A1、A2の該以下(療育手帳A1、A2の該 ~2級の身体障害 ~④のいずれかに 2

者に認定された人は助成対象外と65歳以上になってから新たに障が がおに認定される。 65 された人は対象外に歳以上で新たに障

皆さんから寄せられた義援金の累 計額は、51,184,197円となってい ます(8月31日現在)

義援金は、期間を延長して平成25 年3月31日まで受け付け、日本赤十 字社を通し、被災地に送られます。

間保健福祉センター健康福祉総 務課地域福祉担当☎(260)5604 FAX (262) 0999

所得制限額

扶養親 所得額 族の数 0人 360万4,000円 1人 398万4,000円 436万4,000円 2人 3人 474万4,000円

※扶養親族の数が4人以上の場 合は、1人増えるごとに38万 円を加算した額が所得制限額

※所得制限額は特別障害者手当 の所得限度額と同額です。

2 一定以上の所得があ

定されている人は助成対象です)。なります(6)歳に達する日の前から認

場合は助成の対象外となり 本人の所得が左表の制限額以上の ます

る人は対象外に

「防災行政無線」の放送内容を電話で確認できます。 フリーダイヤル☎0120(112)933

つ な

かった。所要の整備を実施しなか必要な整備作業が不注意で行われ